



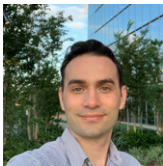
# JET プログラム事業部で活躍する PC たち

## ～JET 経験者がクリアでも活躍中～

JET プログラム事業部 調整課

クリアでは、多くの JET 経験者が PC (Programme Co-ordinator) として、業務にあたっています。今回は JET プログラム事業部 (調整課、研修・カウンセリング課) で、現役の JET プログラム参加者が充実した環境で働くことができるように、研修の運営や関係機関との連絡調整などに日々奮闘している 4 名の PC に JET プログラム参加時の思い出や現在の業務などについてインタビューしました。

## プロフィール

**Nicholas Jackson**

(ニコラス・ジャクソン)

元 ALT (岐阜県恵那市)

出身国：アメリカ 所属：調整課

## Q：JET プログラム参加時に印象に残っていることは？

ALT として働けたことは私にとって非常に貴重な経験でした。4 年間、岐阜県恵那市の小中学校で外国語指導活動を行う中で、町の子供たちや教職員と仲良くなり、お互いに尊敬しあって、毎日学び合えました。アメリカの文化のことを教えながら、日本の文化については教えてもらうことができ、とても勉強になりました。授業だけでなく、一緒に給食を食べたり、昼休みに遊んだりすることは、学び合うことのできる良い機会でした。

## Q：現在の業務内容は？

調整課メンバーとして、多くの国々の JET プログラム参加者を自治体へ配置するサポートが主な業務です。



歌舞伎に挑戦!!

自治体および参加者が JET プログラムに多くの期待をされていると思いますので、簡単な仕事ではありませんが、実りのある仕事だと心の底から思っています。

## Q：今後の目標は？

クリア (そして JET プログラム事業部) から卒業した後も、日

本の国際的な交流をサポートし続けたいと思っています。日本企業の国際化や外資系企業での日本との交流もとても興味深いと思っています。今後帰国したとしてもずっと日本と海外を繋ぐ活動をする予定です。

## プロフィール

**Otilia Stephens**

(オティリアー・スティーヴェンズ)

元 CIR (山口県萩市、東京観光財団)

出身国：イギリス 所属：調整課

## Q：JET プログラム参加時に印象に残っていることは？



翻訳を担当したガイドブック  
©長山達哉 (2017年)

最初の配属先となった萩市は、2015 年に世界遺産として登録されました。「明治日本産業革命遺産」の 5 つの遺産について、「萩の世界遺産—日本の工業化初期の原風景—」を萩博物館との連携事業で英訳することになりました。構成資産を擁する 8 県 11 市のなかで、本格的な英語版公式ガイドブックを作成したのは、萩市が初めてでした。当時、知らない言葉や歴史的な背景が多い中での翻訳作業は大変でしたが、萩市の歴史を世界へ発信できたことはとても誇りに思っている出来事です。

## Q：現在の業務内容は？

私の業務の大半は JET プログラムを終了した方への支援になります。デザイン・ライティングの好きな私にとって、特に興味深い担当事業は「JET Streams」という JET プログラム経験者向けのニュースレターです。

世界各国の JET 経験者から記事を募集し、年に 3 回発行しています。帰国後も JET 経験者が日本および JET のコミュニティと強い絆を保ち続けられるための重要な事業であり、とても意義のある業務です。



**Q：今後の目標は？**

クリア卒業後は、日本語・イラストレーションのスキルを活かし日本のデザイン会社への入社を目指しています。元々、日本語を勉強するきっかけは、日本のアートに対しての興味でした。木版画、漫画、絵本など、日本のビジュアル文化はとても幅広く奥が深いです。

2017～2020年の間、東京観光財団でCIRとして働きながら、通信講座でイギリスのファルマス大学の大学院にて、イラストレーションを勉強しました。

クリアでも、パンフレットの表紙など、イラストレーションのスキルを活かせるデザイン業務が時々できます。

これからも、将来の目標をかなえるためにクリアで必要なスキルを磨いていきたいと思っています。

**プロフィール**



**Kevin Yuan**  
(ケビン・ユアン)

元 CIR (三重県多気町)  
出身国：アメリカ 所属：調整課

**Q：JET プログラム参加時に印象に残っていることは？**

多気町の CIR として常に新しいことに挑戦できたことがとてもありがたかったです。一番印象に残った業務は保育園訪問です。園児に対して英単語を教えたり、海外の遊びを紹介したりするために月5回ぐらい保育園を訪問しました。子どもたちの笑顔や元気な姿を見るたびに元気づけられました。訪問の最後にいつもピアノを演奏させていただきましたが、子どもたちのリクエスト曲などを弾きながら、みんなの歌声を聞くのが楽しかったです。ちなみに、毎回必ず『鬼滅の刃』のオープニングテーマをリクエストされました。

**Q：現在の業務内容は？**

JET プログラム事業部調整課に所属していますので、主に JET プログラムの運営に関わっています。在外公館との連絡を含め、参加者が来日する前の必要な調整な



大根の収穫を体験

どの業務に従事しています。また、ホームページの更新作業や、資料の翻訳、参加者向け研修のサポートなども行っています。

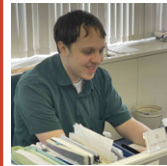
**Q：今後の目標は？**

クリアではまだ1年目のので、引き続き PC として頑張り

たいですが、将来的には日英翻訳家としてキャリアを築くことを目指しています。

子どもの頃に英訳された日本のアニメやゲームなどを楽しんだ事がきっかけで日本語を勉強し始めましたが、今後、日本のあらゆるコンテンツをより多くの人に楽しんでいただけるように翻訳に努めたいと思います。

**プロフィール**



**Andrew Suson**  
(アンドリュー・スソン)

元 ALT (熊本県玉名市)  
出身国：アメリカ  
所属：研修・カウンセリング課

**Q：JET プログラム参加時に印象に残っていることは？**

2016年4月 ALT 在任中に熊本県を巨大な地震が襲いました。本震が朝1時半ぐらいに発生したので、何も考える間もなく、避難しなければなりませんでした。

怖かったです。この経験から「人情」「助け合い」「お互い様」という言葉を身につけることができました。私は熊本県民でないにもかかわらず一番怖い時期に皆さんは温かく見守ってくださり、とてもありがたかったです。また、震災後の復興活動に参加できたことはとても大きな経験でした。

**Q：現在の業務内容は？**

さまざまなオリエンテーションの中で ALT 研修関係の主担当になっています。ALT の皆さまが充実していると思えるようなコンテンツとすることに努めています。そのほかには、TEFL 助成金やオンラインで行っている日本語講座を担当しています。大変な時もありますが、所属している研修・カウンセリング課のチームの同僚と協力しながら業務をやり遂げています。クリアでは、チームワークがとても大事ということを学びました。

**Q：今後の目標は？**

今後のキャリアの中でさまざまなスキルを身に着け、自分のノウハウや知識をレベルアップしたいと思っています。



能に挑戦！！

ます。私生活では、音楽や芸術がとても好きなので、新型コロナウイルスが落ち着いたら、音楽か芸術関係のイベントでボランティアとして働き、さまざまな音楽家や芸術家と交流したいと思っています。